

# 県立大学の躍進

学部学科再編の新たなステージ

# はばたく学生に寄り添って 就活も充実のサポート!

2016年に学部学科の再編を行い、より専門的な分野を学ぶことができるようになった長崎県立大学。佐世保校(経営学部、地域創造学部)、シーボルト校(国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部)の各就職課が中心となり、学部ごとにきめ細かな就職情報を提供。全ての学生の就職活動を包括的にサポートします。

ム学部、看護栄養学部)の各就職課が中心となり、学部ごとにきめ細かな就職情報を提供。全ての学生の就職活動を包括的にサポートします。

## 全ての学生を丁寧に支援

学生が必要とする情報を適切な時期に提供することでサポート

就職課が中心となり行っている主な就職支援の一つが、3年次の4月から



学生支援部 就職課 課長 田口 利通氏

開催する就職ガイダンスと実践セミナーです。就職ガイダンスは、学部問わず全ての就活生に関わる基本的な知識を身につけます。就職活動の進め方やマナー講座、インターンシップの説明など、テーマごとに分けています。3年次の4月から

役となる模擬面接や個別相談、学内外での合同企業説明会など、多種多様なイベントを学生が必要とする適切なタイミングで行います。そして就職活動に関する情報は、学生向けの就職支援システム「Sense Career」に集約。スマートフォンからいつでも確認することができます。



オンラインで先輩からアドバイスを受ける学生

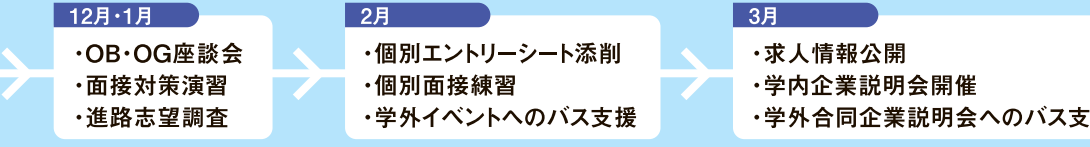
画面でのやりとりにはなりますが、オンデマンドに対応することで、予定の合わなかった学生も自分の都合に合わせて後から学べるのは大きな利点です。現在は企業とも連携しながら、オンライン職種別業界セミナーを開催中。採用面接もオンライン化することで、対面式とは異なる対策が必要で、通信の状況や、映り込む背景にも気を配る必要があります。相手は表情がきちんと伝わるようにしなければなりません。

### 就職課と教員が連携して支援

シーボルト校 就職課 課長 前田 士氏

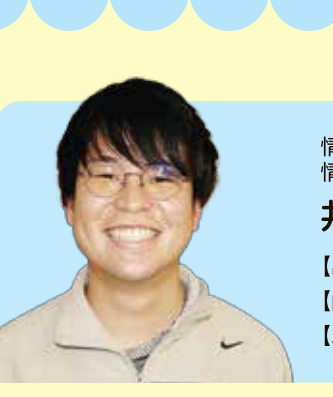
シーボルト校は専門的な学部が集まっているため、就職活動のスケジュールも学生によって大きく異なります。そうした背景から、常に学生の進路に合わせた情報提供や、教員と連携した個別支援を重視しています。大学主催の就活イベントでは、大勢に向けたものだけではなく、特定の業種に絞ったものも開催。例えば、IT企業による合同オンラインセミナーや看護学科生向けのWeb合同病院セミナーなど、様々な特化したイベントを行います。

し、担当教員と就職課で適宜やりとりを行います。就職課が窓口となり就職情報を集め、それを共有することで、教員の側からもアドバイスや指導を行います。学生たちは自己分析や就職活動を進める中で、希望する進路が変わったり、うまくいかずに悩むこともあるかと思いますが、そうした場合にも、記録簿のやり取りを通して就職活動の様子や人間性を把握している教員が、丁寧にサポートしています。そして就職活動は、早めの行動が大切です。自分の興味がある業界の動きを日頃から把握した上で、積極的に情報収集していくことが重要です。就職課も全力でサポートします。



情報システム学部 情報セキュリティ学科 4年 井上 陽太さん

【出身校】兵庫県立須磨東高校  
【内定先】ユニテックス(株)  
【エントリー数】5社



情報システム学部 情報セキュリティ学科 4年 廣瀬 友菜さん

【出身校】島原高校  
【内定先】NBC情報システム(株)  
【エントリー数】4社

Q1.ご自身の就職活動と、その中で印象的な出来事は?  
インターンシップでいろいろな企業を体験して、自分のスキルを生かせること、そして人のあたたかさが企業を選ぶ決め手になりました。また面接では、情報セキュリティ分野を学んでいると話すと、企業からも注目されて他にはないアピールになっていると感じました。

Q2.大学の相談・支援体制で役に立った部分は?  
最初は就職活動に対する不安感がありましたが、就職ガイダンスやセミナーに参加することで理解が深まり、その後の自己分析に役立ちました。またゼミの先生とは時間があれば面接練習やエントリーシートの添削をお願いして、直前までサポートしていただきました。

Q3.先輩へのアドバイスは?  
就職活動では、躊躇することなく周囲の頼れる人に頼った方が良いと思います。僕自身、苦手な面接対策を相談するのが遅くなり、後々苦労しました。ゼミの先生や就職課、そして周りの友人や先輩など、助けてくれる人は身近にいますので、迷わず相談してみましょう。

Q1.ご自身の就職活動と、その中で印象的な出来事は?  
場所を問わず企業情報を調べていましたが、もし県外に就職してもいいか、長崎に戻って来たいと考えていました。そんな中で地元企業のインターンシップに参加して、働いている社員の方の雰囲気や仕事内容を詳しく知ることができて、進路の決め手となりました。

Q2.大学の相談・支援体制で役に立った部分は?  
エントリーシートを書き始めた頃は就職課の方に何度も添削をお願いしていました。またゼミがあるたびに先生が就活の状況を気にかけてくださり、進捗ごとに細かく対策をアドバイスしていただきました。マンツーマンで教えてもらえて感謝しています。

Q3.先輩へのアドバイスは?  
オンライン面接に自宅のパソコンから参加しましたが、リラックスできる環境をきちんと整えることが大切だと感じました。またエントリーシートの自己PR欄は悩む人も多いと思いますが、大学時代のことはもちろん、高校時代のことを書いても良いと思います。

就職活動の大まかな流れ

2019	2020
4月~ 就職ガイダンス・セミナー	1月 エントリーシート・面接対策を本格的に開始
8月 インターンシップ	2月 インターンシップ
10月 学内業界セミナー	3月 エントリーシート提出
12月 インターンシップ	4月 選考開始

就職活動の大まかな流れ

2019	2020
4月~ 就職ガイダンス・セミナー	2月 インターンシップ
8月 インターンシップ	3月 エントリーシート提出
12月 学内業界セミナー	4月 選考開始

### 企業目線から就活をアドバイス

情報システム学部 情報セキュリティ学科 学科長 松崎 なつめ 教授

2016年4月から始動した情報システム学部には、民間企業での経験が豊富な教員がそろっています。私自身、以前は企業でセキュリティ分野に携わりながら、現場の技術担当者として採用面接をした経験もあります。こうした経験を学生の就職活動にも役立てようと、積極的に就職課と連携して情報を共有しています。情報分野とセキュリティ分野のスキルは、IT系の企業はもちろん異業種や公務員としても活かすことが可能で、多種多様な分野から高いニーズがあります。将来の選択肢は数多くありますが、大切なのは学生自身が決めることです。そして、そのた

めには、まずは広く情報を得ることが必要です。教員や就職課からもヒントとなる情報をタイムリーに提供することで、学生の進路決定をサポートします。また自分のアピールポイントが分からない学生に対しては、丁寧に対話を重ねて魅力を引き出し、エントリーシートや面接の指導も必要に応じて実施。一人一人の目指す進路や得意不得意に合わせて継続的にアドバイスします。仕事選びは、人生の一大イベント。学生にはこうしたサポートをうまく活用して、主体的に道を切り拓いてほしいと思います。



## 情報セキュリティ学科は、令和3年度入学者から定員倍増!(40人→80人) 社会が求める“情報セキュリティのプロ”への道がより大きく開かれます。

動画で紹介 情報セキュリティ学科の魅力!

スペシャルムービー 公開中!

- 模擬授業① かんたん解説「セキュアプログラミング」って何?
- 模擬授業② あなたの身近にも...偽サイトの見分け方
- 研究紹介 人の動きで鍵が開く? 生体認証の仕組み
- インタビュー 十人十色!? 担当教員10名による学科紹介

ココからチェック!

令和元年度 就職実績

幅広い業種で情報セキュリティの専門家として活躍しています。

- 有限責任あずさ監査法人
- 株式会社インターネットイニシアティブ
- 京セラコミュニケーションシステム(株)
- 住友電装(株)
- 日本電気(株)
- 富士通ソリューションサイエンスラボラトリー
- 株式会社ラック
- NRIデータテック(株)
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
- 富士フイルムソフトウェア(株)
- 長崎市役所